



狭心症

橋内科循環器内科クリニック

橋 英明 先生 (循環器内科)

狭心症とは？



心臓を養っている冠動脈が狭くなり、十分に心筋へ血液を供給できない状態で発生する胸痛発作のことです。狭心症には①労作性狭心症、②不安定狭心症、③冠攣縮性狭心症があります。①労作性狭心症は運動や階段昇降、重いものを持った時などに胸痛が起こり、休むと落ち着くといった症状です。②不安定狭心症は胸痛の頻度や程度がさらに悪化し、

時に安静時にも胸痛を起こす状態で、心筋梗塞へ移行しやすく非常に危険な状態です。③冠攣縮性狭心症は夜間から朝にかけて冠動脈に痙攣が起こり血流を悪化させ、胸痛を起こす発作です。

原因は？

①労作性狭心症と②不安定狭心症は動脈硬化が原因で起きるもので、③は正常な冠動脈の痙攣が原因です。危険因子としての高血圧、高脂血症、糖尿病、喫煙、肥満、ストレスなどが原因となり動脈硬化が進行します。動脈硬化が進行すると、血管の内側にプラークと呼ばれるコレステロールのコブが出来、血液の通る道を狭くして狭心症を起こします。



治療は？

①労作性狭心症と②不安定狭心症は、まずお薬で症状が落ち着くかどうか確認します。それでも症状が落ち着かない時は心臓 CT 検査や冠動脈造影検査などで何処に、どの程度の狭窄があるかを確認し、カテーテル治療もしくは冠動脈バイパス手術を選択します。③冠攣縮性狭心症は内服治療で発作を抑えます。

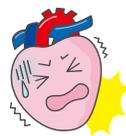
治療後は？



狭心症の再発を予防するためにお薬を継続していただきます。また、危険因子の治療も併せて行います。お薬を途中で自己中止したり、危険因子のコントロールが悪いと狭心症が再発したりしますので、内服治療は継続していただくようお願いいたします。

心不全、狭心症、心筋梗塞、弁膜症について

健康番組などで心不全、狭心症、心筋梗塞について目にする方は多いかと思いますがそれぞれの違いについてはご存じでしょうか？狭心症については今回橋先生が詳しくお話しさせていただきますのでそのほかの2つについて簡単にお話します。



心筋梗塞とは心臓の筋肉(心筋)に血液を送る冠動脈が動脈硬化などが原因で詰まってしまう病気の事です。狭心症と合わせて虚血性心疾患と呼ばれますが、血管が詰まってしまっている分狭心症よりも重篤であり、放置して心臓の筋肉が壊死してしまうと元

は戻らないため早期に適切な治療を受ける必要があります。

心不全とは『心臓が悪いために、息切れやむくみがおこり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気』とされています。厳密には病気の名前ではありませんが心臓が悪いことを総合的に表現する言葉として、ここでは「病気」と表現されています。虚血性心疾患、心臓弁膜症、不整脈などの心臓病だけが原因ではなく、高血圧や糖尿病、脂質異常症、肥満や加齢なども原因とされています。

節酒や禁煙、体重の管理等が動脈硬化等の病気の進行抑制に効果的とされています。また、従来は心不全に至った場合安静にするのがよいと考えられてきましたが、体を動

かさないでいることで運動能力が低下してしまい日常生活に支障が出る場合もあるという事で、現在では運動を行うことで血管の血液の流れが良くなり、長期的に行うことで心臓の機能の改善、不整脈の発作抑制効果が見込めるという事で息苦しさがあるなどの場合でない限り適度な運動が勧められています。適切な程度や頻度については循環器の専門医に相談の上取り組むようにしてください。



北山形薬局

薬剤師 山口由太



北山形薬局

〒990-0822 山形市北山形2丁目5-42
TEL.023-679-5415 FAX.023-679-5428

北山形駅から徒歩2分。
緑豊かな店内でお待ちしています！